

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
11113	少子化対策推進事業(少子化対策・こども施策発信事業)	こども家庭部	こどもえがお課	2
11121	子育てひろば等支援事業	こども家庭部	こどもえがお課	3
11121	児童館等管理運営事業	こども家庭部	こどもえがお課	4
11125	休日子どもカレッジ推進事業	こども家庭部	こどもえがお課	5
11125	児童クラブ運営事業	こども家庭部	こどもえがお課	6
11125	児童クラブ室施設整備事業	こども家庭部	こどもえがお課	7
11211	結婚新生活支援事業	こども家庭部	こどもえがお課	8
11211	出会い・交流創出事業	こども家庭部	こどもえがお課	9
19999	松山市こども計画策定事業	こども家庭部	こどもえがお課	10

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	少子化対策担当	連絡先	948-6039
------	--------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	少子化対策推進事業(少子化対策・こども施策発信事業)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
11113		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健やかでやさしさのあるまち【健康・福祉】		○	○	○	-	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる						
施策	子育て環境の充実と整備						
主な取組	子育て支援の充実	根拠法令					
取組みの柱	地域における子育て支援サービスの充実						
目的・背景	WEB等の媒体を活用し、少子化対策やこども施策などの情報を効果的に発信し、市民に届けやすくすることで、社会全体でこどもまんなか社会の実現に向けた気運の醸成を図ることを目的とする。						
対象・内容	子育て情報サイトの作成等を委託してサイトのリニューアルを行い、市民が「安心して、楽しんで子育てできる」「松山で子育てしたい」と感じられるよう情報発信を行うとともに、民間企業の情報サイトやフリーペーパー等を通じて市が行う子育て支援などの情報を発信し、こどもまんなか社会の実現に向けた気運の醸成を図る。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費		
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	子育て情報サイト作成等業務委託料		5,440		
予算(千円)	事業費計	0	7,079	6,195				主な取組内容【R6】		こどもまんなか松山大賞広告掲載料	495
	国費・県費	0	2,500	2,300							
	市債	0	0	0							
	その他	0	0	0							
	一般財源	0	4,579	3,895			プロモーションカード印刷製本費	70			
決算(千円)	事業費計	0	6,070			・まつやまこども・子育てサイト「にこっと」開設 ・Instagram「にこっと」開設 ・民間企業のフリーペーパー等への記事掲載					
	国費・県費	0	2,500								
	市債	0	0								
	その他	0	0								
	一般財源	0	3,570								
	(執行率)	0%	86%								
人役	正規職員	0.0	0.7	0.7		特記事項					
	その他	0.0	0.0	0.0							
	合計	0.0	0.7	0.7							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和11年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	少子化対策・子育て支援情報の発信回数	目標	-	50	50	50	年間を通じて、サイトで21回、インスタグラムで32回、フリーペーパーで2回の情報発信を行った。		
		実績	-	55					
	現状維持	回	達成率	-	110.0%				
成果指標	こども・子育てサイトのアクセス数	目標	-	64,000	82,000	120,000	Instagramを使ったプロモーションの効果もあり、サイトリニューアル後のアクセス数は前年同月と比較し増加している。		
		実績	-	73,468					
	単年で増	回	達成率	-	114.8%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	子育て情報サイトのリニューアルを行い、予定どおりサイト等を通して情報発信を行うことができたため。							
課題	今後も継続して、社会全体で更にこども施策を推し進める気運の醸成を図る必要がある。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	こども・子育て情報サイト等で発信する記事の内容を充実させ、引き続き積極的に情報発信を行う。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	こども居場所づくり担当	連絡先	948-6781
------	--------	-----	---------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	子育てひろば等支援事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
11121								
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			-	-	○	-	
施策	子育て環境の充実と整備							
主な取組	子育て拠点や居場所づくりの推進		根拠法令	児童福祉法第6条の3第6項、第34条の11 松山市地域子ども見守り事業補助金交付要綱 松山市こども食堂支援事業補助金交付要綱				
取組みの柱	親と子が集える拠点づくりの推進							
目的・背景	乳幼児とその保護者が気軽に集うことができる場所を提供し、子育て相談、情報提供、助言その他の援助を行うことで、子育て中の保護者の孤独感や育児不安等の解消を図る。							
対象・内容	<p>【対象】 乳幼児とその保護者等 補助金の交付先:子育てネットワークえひめ、松山東雲女子大学、聖カタリナ大学、地域子ども見守り事業を行う団体、こども食堂運営団体</p> <p>【内容】 手段:民間団体への補助 内容:乳幼児とその保護者が気軽に集うことができる場所を提供し、子育て相談、情報提供、助言その他の援助 箇所数:地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)5箇所、地域子ども見守り事業を行う団体2箇所、こども食堂運営団体15箇所、計22箇所</p>							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童健全育成費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	47,664	53,465	59,543		主な経費 (千円) 【R6 決算】	負担金補助及び交付金		52,755
	国費・県費	32,268	36,637	41,320					
	市債								
	その他								
	一般財源	15,396	16,828	18,223					
決算 (千円)	事業費計	46,959	53,034			主な取組 内容 【R6】	・子育て親子の交流の場を提供 ・子育て親子に対する相談・援助 ・子育て支援情報の提供		
	国費・県費	32,345	36,748						
	市債								
	その他								
	一般財源	14,614	16,286						
(執行率)	99%	99%							
人役	正規職員	0.2	0.3	0.3		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	地域子育て支援拠点事業 全体の実施箇所	目標	31	31	31	31	育児不安の解消、子育ての孤立防止等のための交流の場を32カ所で実施することができた。	
		実績	32	32				
	現状維持	箇所	達成率	103.2%	103.2%			
成果 指標	民間子育てひろばの 利用者数合計	目標	50,000	50,000	50,000	50,000	新型コロナウイルス感染症の5類移行後、利用者数が増加し、目標値を概ね達成できた。	
		実績	44,236	48,247				
	単年で増	人	達成率	88.5%	96.5%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	乳幼児とその保護者が気軽に集うことができる場所を提供し、子育て相談、情報提供、助言その他の援助を行うことができ、子育てにやさしいまちづくりが進められているため。						
課題	引き続き、親子の交流の場や、子育てに関する相談ができる場所が求められている。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	こどもと保護者を支援する居場所の提供ができているため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	こども居場所づくり担当	連絡先	948-6781
------	--------	-----	---------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	児童館等管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
11121							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる		○	-	○	-	
施策	子育て環境の充実と整備						
主な取組	子育て拠点や居場所づくりの推進	根拠法令	児童福祉法第35条第3項、第40条				
取組みの柱	親と子が集える拠点づくりの推進		松山市児童厚生施設条例				
目的・背景	都市化による児童の遊び場の減少、少子化による児童同士の交流の機会の減少から、児童の安全な遊び場の確保が求められるようになり、取組を開始した。児童に健全な遊びを提供し、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。						
対象・内容	【対象】 0歳から18歳までの児童と保護者 【内容】 児童館5箇所、児童センター3箇所、合計8箇所を指定管理者制度により運営し、親子体操やお誕生日会等のイベント、おもちゃや絵本の貸出しを実施している。						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童健全育成費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	児童センター等の管理に係る指定管理料		356,106
予算(千円)	事業費計	355,265	474,553	957,036					
	国費・県費	6,350	19,024	19,956					
	市債	7,000	30,000	364,900					
	その他	719	924	146,294					
	一般財源	341,196	424,605	425,886					
決算(千円)	事業費計	312,073	415,520			主な取組内容【R6】	・児童館5か所・児童センター3か所の合計8か所を指定管理者制度により運営 ・親子体操・お誕生日会等のイベント、おもちゃや絵本の貸し出しを実施		
	国費・県費	14,058	20,604						
	市債	0	6,600						
	その他	1,019	1,102						
	一般財源	296,996	387,214						
	(執行率)	88%	88%						
人役	正規職員	0.3	0.4	0.4		特記事項	R6→R7一部繰越 久枝(空調、照明改修) 23,300千円(市債) 2,590千円(一般財源)		
	その他								
	合計	0.3	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	設置箇所数		目標	8	8	8	8	児童館5カ所・児童センター3カ所の計8カ所で安全な遊び場を提供した。	
	実績			8	8				
成果指標	現状維持	箇所	達成率	100.0%	100.0%			コロナ禍を経て、5年振りに大規模イベントを開催するなど、児童館活動が以前のように行えるようになったため。	
	利用者数		目標	461,194	361,700	361,700	361700		
	単年で増	人	達成率	69.9%	94.8%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市内8児童館の運営により、児童の健全育成活動を行うことができた。							
課題	引き続きこどもの意見を聞き、事業等に反映することが求められている。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	こどもと保護者を支援する居場所の提供ができていないため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	こども居場所づくり担当	連絡先	948-6781
------	--------	-----	---------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	休日子どもカレッジ推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
11125								
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			○	-	○	-	
施策	子育て環境の充実と整備							
主な取組	子育て拠点や居場所づくりの推進		根拠法令	愛媛県休日子どもカレッジ推進事業実施要領				
取組みの柱	放課後児童クラブの充実			愛媛県休日子どもクラブ推進事業実施要領 松山市休日子どもカレッジ推進事業実施要領				
目的・背景	親の不在や家庭の事情等により長期休業中の学びや遊びが不足していることに対し、夏休み等の長期休業中に安全・安心な居場所を確保するとともに、学びや遊び、交流などの様々な体験を提供し、こどもの育ちを支援する。							
対象・内容	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に、長期休業中の居場所の確保や、学びや遊び、交流などの様々な体験を提供する休日子どもカレッジ実施事業者へ補助金を支出する。							

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童健全育成費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	休日子どもカレッジ補助金		7,600
予算(千円)	事業費計	8,000	8,000	8,324					
	国費・県費	4,000	4,000	4,162					
	市債								
	その他								
	一般財源	4,000	4,000	4,162					
決算(千円)	事業費計	7,575	7,600			主な取組内容【R6】	松山大学とハーモニープラザで休日子どもカレッジを実施		
	国費・県費	3,787	3,800						
	市債								
	その他								
	一般財源	3,788	3,800						
	(執行率)	95%	95%						
人役	正規職員	0.3	0.3	0.3		特記事項			
	その他								
	合計	0.3	0.3	0.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	実施箇所数		目標	2	2	2	2	NPO法人、大学、行政の連携のもと、市内2ヶ所で実施した。	
			実績	2	2				
	現状維持	箇所	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	延べ利用者数		目標	2000	2000	2800	2800	幅広い体験行事を実施したり、郊外活動などの楽しいイベントを取り入れるといった事業者の工夫もあり、目標を達成することができた。	
			実績	3022	2796				
	現状維持	人	達成率	151.1%	139.8%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	夏休みなどの長期休業中のこどもの安全・安心な居場所を確保するとともに、学びやあそび、交流などの様々な体験を提供することができた。							
課題	県の「子どもの愛顔応援ファンド」を活用しているところ、今後も県が補助事業を継続するかが不透明である。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	こどもたちの育ちを支援する居場所の提供ができていないため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	こども居場所づくり担当	連絡先	948-6411
------	--------	-----	---------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	児童クラブ運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
11125							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる		○	-	○	-	
施策	子育て環境の充実と整備						
主な取組	子育て拠点や居場所づくりの推進	根拠法令	児童福祉法第6条の3第2項				
取組みの柱	放課後児童クラブの充実		松山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 松山市放課後児童健全育成事業実施要綱				
目的・背景	仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後に預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図る。						
対象・内容	【対象】市内の小学生 【内容】 ・126箇所(令和6年度)で児童クラブを開設 ・地域に設立した運営委員会等に委託						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童健全育成費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	委託料		1,294,326
予算(千円)	事業費計	1,290,562	1,490,419	1,604,519					
	国費・県費	689,022	776,768	886,816					
	市債								
	その他								
	一般財源	601,540	713,651	717,703					
決算(千円)	事業費計	1,181,833	1,378,783			主な取組内容【R6】	・児童クラブ126か所の運営 入会児童数5,969人		
	国費・県費	759,932	905,050						
	市債								
	その他								
	一般財源	421,901	473,733						
	(執行率)	92%	93%						
人役	正規職員	4.3	4.5	5.0		特記事項			
	その他	4.0	4.0	5.0					
	合計	8.3	8.5	10.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	クラブ数		目標	124	126	-	-	関係機関と連携し、クラブを増設することで受入れの定員を増やすことができた。令和7年度からの指標を、民間児童クラブも含めた数に変更する。	
			実績	124	126				
成果指標	現状維持	箇所	達成率	100.0%	100.0%			施設整備等により入会児童数が増加し、児童の健全な育成を推進した。令和7年度からの指標を、民間児童クラブも含めた入会児童数に変更する。	
			目標	6,323	6,349	-	-		
	入会児童数	実績	5,680	5,969					
	単年で増	人	達成率	89.8%	94.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	児童クラブ数を126か所に拡大して事業を実施することで、入会児童数も増加し、児童クラブの充実を図りながら、児童の健全育成に取り組むことができた。							
課題	こどもの人口は減少しているが、ニーズの高まりにより入会児童数は増加している。ニーズに対応するためには、引き続き人員確保や施設の整備が必要である。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	共働き世帯の増加などにより、児童クラブのニーズは年々高まってきており、引き続き施設整備などを行い、待機児童の解消を目指すため。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	こども居場所づくり担当	連絡先	948-6781
------	--------	-----	---------	-----	-------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	児童クラブ室施設整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
11125							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる		○	-	○	-	
施策	子育て環境の充実と整備						
主な取組	子育て拠点や居場所づくりの推進	根拠法令	児童福祉法第6条の3第2項 松山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
取組みの柱	放課後児童クラブの充実						
目的・背景	放課後児童クラブは、仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後に預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図ることを目的とするもので、児童クラブ室を整備することによって、放課後児童の健全育成及び仕事と家庭の両立支援を行う。						
対象・内容	児童クラブが不足する校区で、余裕教室や学校敷地を活用して児童クラブ室を整備し、受入れの拡大や利用する児童の環境改善を図る。 令和6年度は雄郡小、味生第二小で余裕教室等を改修し、児童クラブ室を整備した。						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童健全育成費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	新設等の工事請負費		44,939
予算(千円)	事業費計	52,369	54,455	85,263					
	国費・県費	16,000	22,275	43,507					
	市債			14,375					
	その他		30,160						
	一般財源	36,369	2,020	27,381					
決算(千円)	事業費計	41,526	47,598			主な取組内容【R6】	・雄郡小と味生第二小で余裕教室等を改修し、校内に児童クラブを新設した。 ・雄郡小では、別敷地にある老朽化した施設から移転して運営を開始した。		
	国費・県費	8,000	22,341						
	市債								
	その他		24,220						
	一般財源	33,526	1,037						
	(執行率)	79%	87%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項			
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	公設クラブ室設置数	目標	124	126	127	130	関係機関と連携して、目標とおりクラブを増設することができた。 令和7年度からの指標名を、公設クラブ設置数に変更する。		
		実績	124	126					
	現状維持	箇所	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	公設クラブ入会児童数	目標	6,323	6,349	6,096	6,062	増設により、より多くの児童を受け入れることができた。 令和7年度からの指標名を、「公設児童クラブ入会児童数」に変更する。		
		実績	5,680	5,969					
		単年で増	人	達成率	89.8%	94.0%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	教育委員会等の関係機関と連携しクラブ室を増設することで入会を希望する児童の受入が増加したため。							
課題	長期休暇中のみの希望も多く、一部の地区では待機児童が解消されていない。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	待機児童の解消のため、引き続き受入数の拡大に取り組む必要がある。		

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	少子化対策担当	連絡先	948-6039
------	--------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	結婚新生活支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
11211							
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる						
施策	出会いからの環境整備		○	-	-	○	
主な取組	出会いの場の創出	根拠法令					
取組みの柱	出会いの機会の提供						
目的・背景	少子化の主な要因である出生数の増加に向けて、経済的理由で結婚を諦めることがないよう、国の地域少子化対策重点推進交付金や、県のえひめ人口減少対策総合交付金を活用し、県市連携で新婚世帯の経済基盤の安定を図り、結婚を後押しすることを目的としている。						
対象・内容	次の世帯に対して、住宅取得費用、住宅リフォーム費用、住宅借借費用、引越費用を補助する。 ・令和6年1月1日から令和7年2月28日までに婚姻届を受理された夫婦で、次のいずれかの世帯(限度額:60万円) ①夫婦ともに婚姻日に29歳以下、かつ令和5年中の夫婦の所得合計額が500万円未満 ②夫婦ともに婚姻日に39歳以下、かつ令和6年度の住民税均等割が非課税 ・令和5年度に本補助金の交付決定を受け、交付決定額が60万円に達しなかった世帯(限度額:60万円と交付決定額の差額)						

2.事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費	
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費(千円)【R6決算】	申請者への補助金		110,049	
予算(千円)	事業費計	496,032	367,035	269,289				審査等業務委託料		9,427
	国費・県費	406,938	298,323	215,878						
	市債	0	0	0						
	その他	0	0	0						
	一般財源	89,094	68,712	53,411						
決算(千円)	事業費計	88,291	120,113			主な取組内容【R6】	以下の申請者に対する補助を実施(合計295件) ・29歳以下(500万以下):184件 ・39歳以下(非課税世帯):4件 ・継続補助世帯:107件			
	国費・県費	70,662	94,916							
	市債	0	0							
	その他	0	0							
	一般財源	17,629	25,197							
	(執行率)	18%	33%							
人役	正規職員	0.7	0.7	0.7		特記事項	国の人口動態統計や国民生活基礎調査及び婚姻数見込みを基に、支給見込み世帯を算出したが、想定より申請者が少なかった。			
	その他	0.0	0.0	0.0						
	合計	0.7	0.7	0.7						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	支給世帯数/ 支給見込み世帯数	目標	100.0	80.0	85.0	90.0	国の人口動態統計や国民生活基礎調査及び婚姻数見込みを基に、支給見込み世帯を算出したが、想定より申請者が少なかった。	
		実績	22.2	50.0				
	単年で増	%	達成率	22.2%	62.5%			
成果指標	地域に応援されていると感じる新婚世帯の割合	目標	80.0	80.0	85.0	90.0	昨年度と比較して本事業の認知度が高まったことが要因と推測される。	
		実績	83.3	87.3				
	単年で増	%	達成率	104.1%	109.1%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	様々な方法による周知啓発を行ったものの、想定より申請者が少なかったが、補助金交付決定者からは、補助金の評価をいただいた。						
課題	申請件数の増加に向けて、本事業の更なる周知啓発が必要である。			今後の方向性	現行のまま継続		左記の理由	えひめ人口減少対策総合交付金を活用した県市連携事業であり、本交付金が継続されるまでは、今後も実施予定のため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	こども家庭部	課等名	こどもえがお課	担当G	少子化対策担当	連絡先	948-6039
------	--------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	11211	出会い・交流創出事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	地域全体で子育てを支える社会をつくる			-	○	○	○
施策	出会いからの環境整備		根拠法令				
主な取組	出会いの場の創出						
取組みの柱	出会いの機会の提供						
目的・背景	<p><まつやま巡り愛プロジェクト業務委託及び3市3町出会い・交流支援業務委託> 年々、出生数が減少し、少子化及び未婚化・晩婚化も進行していることから、人口減少に歯止めをかけるため、独身男女に幅広い出会いの機会と、よきパートナーとの出会いの場を提供することを目的としている。 また、平成28年度からは、松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町の3市3町が連携して、松山圏域の独身男女についても幅広い出会いの機会と、よきパートナーとの出会いを提供している。</p> <p><松山市出会い・交流イベント開催支援事業> 独身者の出会いの機会を創出するイベントの開催を支援し、少子化対策を推進するため、出会い・交流イベントを企画、実施する団体や企業に対し、事業の実施に必要な費用の一部を補助する。</p>						
対象・内容	<p><まつやま巡り愛プロジェクト業務委託及び3市3町出会い・交流支援業務委託> 一般社団法人愛媛県法人会連合会に各種出会いイベントの開催等に伴う業務を委託し、出会いの場でのカップル数及び婚姻数の増加を図る。</p> <p><松山市出会い・交流イベント開催支援事業> 松山市内に事務所、事業所等の活動拠点を有する団体及び企業に対し、独身者の出会いの機会を創出するイベントの実施に必要な費用の一部を補助し、婚姻数の増加を図る。</p>						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	8,945	8,890	9,938		主な経費 (千円) 【R6 決算】	まつやま巡り愛プロジェクト業務委託		3,014
	国費・県費	0	2,750	2,700			3市3町出会い・交流支援業務委託		5,363
	市債	0	0	0			松山市出会い・交流イベント開催支援事業		7
	その他	1,400	1,400	1,674					
	一般財源	7,545	4,740	5,564					
決算 (千円)	事業費計	8,893	8,384			主な取組 内容 【R6】	・各種出会いイベントの企画・立案・周知 ・まつやま巡り愛プロジェクト業務委託 ・3市3町出会い・交流支援業務委託 ・松山市出会い・交流イベント開催支援事業		
	国費・県費	2,500	2,504						
	市債	0	0						
	その他	1,397	1,394						
	一般財源	4,996	4,486						
	(執行率)	99%	94%						
人役	正規職員	0.7	0.7	0.7		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.7	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和11年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	イベント回数	目標	10	10	11	11	これまでの出会いイベントに係る予算の一部を、民間事業者が行う出会い・交流イベントへの補助に変更したため、開催回数が減少した。	
		実績	8	6				
	単年で増	回	達成率	80.0%	60.0%			
成果 指標	イベントでの カップル成立数	目標	35	35	45	45	上記のとおり、イベント開催回数が減少したことから、それに伴いカップル数も減少した。	
		実績	48	25				
	単年で増	組	達成率	137.1%	71.4%			
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	イベント回数やイベントでのカップル成立数は目標数に届かなかったが、イベント参加者の満足度は高く、独身男女に幅広い出会いの機会を適切に提供することができたため。						
課題	若い世代の方が気軽に参加できるようなイベントを実施していく必要がある。また、特に女性の集客に苦慮しているため、ニーズに沿った出会いイベントの企画を行う必要がある。			今後の 方向性	見直しを検討	左記の 理由	若い世代の方が気軽に参加できるような出会いイベントの内容を見直す。また、民間事業者への補助については、認知度向上に向けて、様々な方法による周知啓発を行う。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	子ども家庭部	課等名	子どもえがお課	担当G	少子化対策担当	連絡先	948-6039
------	--------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市子ども計画策定事業		事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	2:委託	
19999								
基本目標	健やかで優しさのあるまち【健康・福祉】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	その他			○	-	○	○	
施策	その他							
主な取組	その他		根拠法令	子ども基本法第10条第2項				
取組みの柱	その他							
目的・背景	子どもまんなか社会の実現に向け、子ども基本法第10条第2項に基づく市町村子ども計画として、国の子ども大綱を勘案し、本市の子ども施策の指針となる「松山市子ども計画」を策定する。							
対象・内容	委託先の計画策定支援事業者の支援も受けながら、本市の子ども計画を策定する。							

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
事業費/財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
予算 (千円)	事業費計	0	17,280	0		主な経費 (千円) 【R6 決算】	松山市子ども計画策定支援業務委託		14,982
	国費・県費	0	0	0			松山市子ども・子育て会議委員報酬		623
	市債	0	0	0			ワークショップファシリテーター報償費		160
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	17,280	0					
決算 (千円)	事業費計	0	15,907			主な取組 内容 【R6】	・松山市子ども計画の策定 ・子ども・子育て会議の開催 (全体会:5回、教育・保育部会:5回、地域子育て部会:4回開催) ・計画策定に係るワークショップ等の実施 (若者:1回、子ども:3回、児童館:1回) ・計画策定に係るアンケート調査		
	国費・県費	0	462						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	0	15,445						
	(執行率)	0%	92%						
人役	正規職員	0.0	2.0	0.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.0	2.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	市民参加機会の回数	目標		3	6	-	-	令和6年度は、ワークショップ、アンケート、パブリックコメントを各1回(合計3回)実施する予定としていたものの、ワークショップ4回(若者1回、子ども3回)、アンケート、パブリックコメントは各1回、さらに、児童館での意見募集1回の合計7回実施した。
		実績		3	10			
	累計で増	回	達成率	100.0%	166.7%			
成果 指標	子ども計画策定の進捗率	目標		10	100	-	-	当初の予定どおり、令和6年度未までに「松山市子ども計画」を策定できたため。
		実績		10	100			
	単年で増	%	達成率	100.0%	100.0%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	ワークショップやアンケートなど、様々な手法で、子どもや若者を含めた市民の方から意見を伺い、計画にも反映し、当初の予定どおり、「松山市子ども計画」を令和6年度内に策定することができたため。						
課題	子どもや若者も含めて、より多くの市民の方に、計画を知ってもらうことが必要である。			今後の 方向性	事業 終期到来	左記の 理由	令和6年度に「松山市子ども計画」を策定したため。	